



東京多摩プロバスニュース

第 119 号

■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878

■編集・発行: 広報委員会 2025. 9. 3.

■ホームページ: tokyo-tama-probusclub.com



親睦と融和なクラブ作りを



「戦後 80 年」令和 7 年 8 月 15 日

小林務会長

令和 7 年 8 月 13 日は当クラブの定例会と第 22 期総会が同時に開催されました。会員の皆様 1 年間クラブの運営活動にご尽力頂きました事心より感謝申し上げます。

総会議事については各委員会報告に委ねるとして、当日は当クラブ前会長の高村弘毅様の久しぶりのご出席を頂きました。奇しくも 8 月 15 日が高村様米寿の誕生日に当たり、出席者全員で高村前会長米寿のお誕生日をお祝い致しました。

高村様の 88 歳の誕生日が奇しくも終戦日と重なり既に 8 歳を迎えた誕生日が昭和 20 年 8 月 15 日、無意味に思われた太平洋戦争で大勢の戦没者、全国各地に米軍焼夷弾投下による一面の焼野原、鮮明に記憶も蘇る事でしょう。高村様これから卒寿、白寿に向けて猛暑に負けずご自愛ください。

さて、昨今のメディア報道も昭和 100 年、戦後 80 年に関するニュースと相変わらずの地球温暖化ならぬ暑暖化に関する情報満載である。人類が今まで経験した事の無い暑さと戦っています。特に高齢者には厳しい夏です。しかし猛暑の屋外現場で働く人々の事を思うと心が痛みます。屋外で働く人々に心から猛暑お見舞い申し上げます。一方、この猛暑の夏に各種スポーツも全国各地で熱戦が繰り広げられています。取り分け私の大好きな真夏の風物詩としての全国高校野球の熱戦も繰り広げられています。猛暑の中での戦いは野球技術力の戦いと同時に暑さとの闘いでもあります。屋外のスポーツ開催に選手の無事を祈ります。8 月 15 日終戦記念日に向けてスポーツの熱戦は大賛成ですが、戦争と言う戦いだけは永久に無いことを祈ります。

理 念

1. 豊かな人生経験を
生かし地域社会に奉
仕する
2. 活力ある高齢社会
を創造する
3. 会員同士の交流と
意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教
的、非営利的である
こととする



「大谷戸公園」遊具・ランニングコース・BBQ のかまども整備されて、キャンプも出来ます。この日は暑さで人っ子一人もなし。

トピックス

- 会長あいさつ 1
- 第 22 期総会、新役員 2
- 卓話: 「会社時代をふり返り」 3
- 「地球温暖化 私の意見」 3-4
- QR コードから当ニュース
のデジタル版の閲覧・ダ
ウンロードが出来ます。



◇◇◇ 第 22 期定期総会 ◇◇◇

第 22 期定期総会(令和 7 年度) が 8 月 13 日(水) 午後 3 時より関戸公民館ワークショップルームで開催されました。総会は、議長に片倉満、書記に堀井義昭各会員が選出されて審議に入り、第 1 号議案から第 6 号議案まで、すべて異議なく承認されました。

PC 学習など必要に応じ実施。

右の写真は
第 22 期総会風景



◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 第 22 期(令和 7 年度)新理事・監査

理事 会長	小林 務
理事 幹事	小島 明
理事 会計	小島 明(兼務)
理事 総務委員会委員長	片倉 満
理事 研修・親睦委員会委員長	片倉 満(兼務)
理事 広報委員会委員長	伊藤健一
理事 事務局	登坂征一郎
監査	増山敏夫



新任の役員



議長(左)と書記

2. 令和 7 年度基本目標と活動方針 ＜スローガン＞

「親睦と融和なクラブ作りを」

基本目標

東京多摩プロバスクラブは、少ない会員構成ですが、互いの親睦を深め、皆で協力をして融和なクラブ作りを目指しましょう。

活動方針

- 1) 会員間はもとより、他クラブとの交流を深め親睦を極める。
- 2) 研修・親睦委員会と協力して、様々な企画を立て、楽しいクラブライフを楽しみ親睦を深めよう。

3. 委員会の活動方針

3.1. 総務委員会 片倉 満委員長

- 1) 職務分掌を協力し合い、クラブ全体の円滑な運営を推進
- 2) クラブ資料等の整理保管をすすめる
- 3) 会員増加を積極的に取り組む。

3.2. 研修・親睦委員会 片倉 満委員長

- 1) 定例会前の昼食会の奇数月実施
- 2) 12 月忘年懇親会(会友参加)、会場「つきじ植むら」
- 3) お花見会(会友参加)、桜満開時 乞田川付近
- 4) 多摩市中央図書館の探訪と食事会

3.3. 広報委員会 伊藤健一委員長

- 1) プロバスニュースの隔月発行
- 2) ホームページのメンテナンス・管理
- 3) 会員募集広報活動
- 4) プロバスグローバル(PG)の日本コーディネーターとして、海外プロバスクラブとの情報交換、他
- 5) スマホ、

1. 幹事報告

小島 明幹事

9 月 1 日：横濱プロバス倶楽部との親睦ゴルフ、秦野カントリークラブ。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

片倉 満委員長

1) 第 253 回定例会：7 月 2 日(水) 13:30～

出席者：9 名 会員数 12 名(会員 11 名+休会 1 名)

・誕生祝；片倉満会員

・卓話：辻勝英会員 「会社時代をふり返り」

詳細 3 頁参照

2) 第 254 回定例会：8 月 13 日(水) 13:30～

出席者：10 名 会員数 12 名(会員 10 名+休会員 2 名)、会友 10 名

・誕生祝；**米寿** 高村弘毅会員、堀井義昭会員

・卓話・フリートークキング；「地球温暖化—私の意見」

話題提供：伊藤健一会員 詳細 3,4 頁参照

2.2. 研修・親睦委員会

片倉 満委員長

・第 22 期スローガン「親睦と融和なクラブ作りを」を具現化する事業活動を企画；奇数月の昼食会、秋には多摩市内の名所名店探訪、懇親忘年会、新春は近郊の観光等

・総会・定例会終了後、1 年間の慰労懇親会

2.3. 広報委員会

伊藤健一委員長

- 1) プロバスニュース第 119 号；9 月 3 日発行・配布。
- 2) ホームページ更新は上記ニュース発行後に予定。
- 3) 寄稿を随時募集しています。テーマは自由。

次号 120 号の原稿締め切りは 10 月 15 日頃予定

2.4. 事務局報告

登坂征一郎会員

1) 八王子 PC プロバスだより 第 356 号

・2025～2026 年度役員人事；会長：持田律三氏、交流担当：田中信昭氏

2-1) 埼玉浮き城 PC 会報 No. 168 号

・会長退任あいさつ：岩崎安裕氏

2-2) 埼玉浮き城 PC 会報 No. 169 号

・新体制；会長：森田義弘氏、交流担当：岩崎安裕氏

3) 大阪 PC 会報第 406 号

・新体制；会長：田中浩三氏、会報担当：西宮富夫氏

4) 鎌倉 PC

・新体制；会長：吉野忠彦氏、広報：小島明子氏

5) 多摩市文化団体連合 多摩の文化第 58 号

・多摩市文化団体の紹介

会社時代をふり返り

<発電所の制御盤等の設計・試験>

’77年現在の(株)東芝に入社、府中事業所にて当初は韓国、オーストラリアの火力発電所の発電機の電圧を制御する自動電圧調整装置と発電機の冷却水や水素ガス等の監視制御盤の設計に従事。’83年からクウェートのアズール火力発電所のボイラ、タービン、発電機の運転監視を行う中央制御盤等の設計において顧客要求が厳しく仕様が決まらない中で納期を守るため未完成の盤を出荷し現地で改造と試験を行い大変苦労したこと、また湾岸戦争前のペルシャ湾の青い海を思い出します。’86年から南アフリカのケンドール火力発電所に給水する水処理プラントの全自動化の制御装置の設計・試験に従事。当時、水処理プラントの全自動化は世界初であり、ところが東芝には水処理プラントの実績もノウハウも無かったため顧客の要求を理解して設計するのに本当に苦労して全自動化水処理プラントを運開、休日にはケープタウンやクルーガ国立公園を観光やホテルでうどんを作った事などが思い出です。’89年以降も東電、中電およびタイのコンバインドサイクルプラント、インド、ベネズエラの火力発電プラント、コスタリカの地熱発電プラント等の多くの発電所の制御盤の設計に従事。’95年：日本電機工業会(JEMA)の配電盤・制御盤技術専門委員会の委員を担当。’98年：エネルギー品質保証部にて工場試験と現地試験とその安全管理に従事。

辻勝英会員



<シックスシグマ>

’98年：東芝電力システム社にて経営変革運動(MI運動)が始まり、米国アリゾナ州フェニックス(シックスシグマ発祥の地)にてシックスシグマによる品質管理手法を学び、経営変革エキスパートとしてプロジェクトを指導しMI運動を推進。(シックスシグマは、品質管理手法の一つ。業務プロセスを改善して製品やサービスの品質のばらつきを抑えることを目的として統計学を用いてプロジェクトとして行う。) ’03年：府中事業所の企画部に移籍、事業所の課題改善プロジェクトを推進。’04年：スイッチギヤ部に移籍、スイッチギヤの電気設計の支援およびMI運動を推進。

<輸出管理>

’07年：(株)TMEIC(ティーマイク)に移籍、モータ、インバータ等の電機品の輸出管理に従事。輸出管理の規則・規程の制定と改定、引合案件の顧客の確認、該非判定と用途の確認、設置場所の確認、出荷許可および輸出管理教育等を行いました。

苦労した事：①輸出管理に関する日本の法令および米国の輸出規制の習得(学ぶ事が多い)、②当初、輸出管理の担当は2人で業務遂行が精一杯、③米国のロシア、イラン、中国等への制裁など国際情勢の日々の変化に対応すべく輸出管理も日々変化。

良かった事：’23年退職までの16年間、輸出管理における大きな事故も無く出荷出来たこと。海外営業や技術部の多くの皆さんと知り合えて楽しく過ごせました。

卓話&フリートーカーキング

「地球温暖化 私の意見」を終えて 伊藤健一会員

このたび、地球温暖化について私見の発表、討論の機会を与えていただきましたことに感謝いたします。

数年前頃から、大気中に僅かしか存在しないCO2が温暖化の原因というのは本当か?と疑問を持ち調べ初めて、その考察結果の一部を東京多摩プロバスニュース116号(3/5発行)に寄稿しました。

プロバスニュース116号→

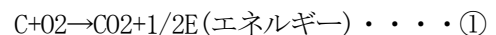


寄稿で、温室効果ガスの中ではCO2の影響は僅かで、<水蒸気が最大の温暖化影響力を持つ、よってCO2は温暖化の主因ではない>ことを明らかにしました。

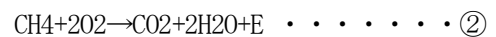
今回の卓話では、さらに<水蒸気を事実上無視し、CO2を温暖化の主因とみなすために起きる誤解>について述べました。一例は、「石炭火力は同じエネルギーを得る為に、LNG(液化天然ガス)よりCO2を2倍排出するので温暖化防止の観点から良くない」という誤解です。私の試算では、LNG(主成分CH4)は燃焼時のH2O(水蒸気)発生を考慮すると、逆に「LNGの方が石炭より約4

倍も温暖化に対する影響力が大」という結果です。

(理由) -石炭の燃焼化学式-



-LNGの燃焼化学式-



※C(炭素)は石炭の主成分、CH4(メタン)はLNGの主成分、Eは得られるエネルギー。単位重量当りH2O(水蒸気)はCO2の約7.5倍の温暖化力があることより計算。

石炭がLNGより温暖化影響が少なければ、調達コストも安く、日本は世界トップクラスの優れた石炭ガス化複合発電技術(IGCC)を持っているので有利です。

<人間活動による水蒸気排出が気温や気候に及ぼす影響>

に関し、最近の研究論文を紹介しました。

Bruce Peachey and Nobuo Maeda 著→



その中で、「北半球の大気中の水蒸気の増加は10年ごとに数パーセントとなっている。対照的に、南半球ではほとんど変化がない。」「水蒸気の発生源が海洋である場合、海洋の表面積ははるかに大きい南半球では、北半球よりも多くの影響が観測されているはずである。

対照的に、北半球の陸地降水量では過去1世紀で平均2%の増加が観測されている。一方、南半球の陸地降水量ではこのような増加は観測されていない。北半球の陸地降水量の増加は、過去50年間で豪雨の発生頻度が推定2〜4%増加したと関連しているが、これも北半球でみられるが、南半球では増加していない。」として、「人為的な水蒸気排出が地域規模で大きな影響を及ぼしている。」と、人間活動による水蒸気排出の豪雨など気候変動への影響を指摘している。

＜温室効果ガス以外の原因について＞

「気温上昇は都市のヒートアイランド現象と太陽活動の変動が原因」という筑波大学名誉教授 田中博氏の研究を紹介しました。

「間違いだらけの地球温暖化論争」P14、15 参照→



以上、これまで考察した結果、私自身は地球温暖化や気候変動の原因は、太陽活動など自然変動による気温上昇とそれに伴う自然な、または人為的な水蒸気の増加が原因ではなかろうかと考えています。

地球は海、そして水蒸気、CO2 も含めた温室効果ガスにより温暖な気温に保たれている。またCO2は生命体の構成要素であり、植物の栄養源として必要不可欠です。温暖化の主因はCO2という不確かな常識を元にCO2を減らそうと安易に考えるのはいかがなものでしょうか？

◆◆◆ ハッピーバースデー ◆◆◆

1. 7月に誕生日を迎えられました！



片倉満会員(右)；
78歳となりました。一時体調崩しましたが元気で誕生日を迎えました。
終戦から80年の本年。戦争に聖戦はなく、平和な社会建設を強く祈る今日この頃です。

2. 8月に誕生日を迎えられました！



祝米寿！
高村弘毅会員(右)；
小生八十八歳の毅(とし)は南方の戦士の英霊に追悼することにあり。

弘毅



堀井義昭会員；
私は、昭和21年8月9日生まれです。
長崎の原爆の日になります。私の生きる意味は、世界平和を願う事です。

＜フリートーカー＞

卓話の後、皆様のご意見をいただきました。

- ・気候変動の原因は温暖化なのかどうか？線状降水帯による豪雨など最近よく言われるようになったが、温暖化と関係があるのか？・CO2が温暖化の原因であると信じている・はたしてCO2を減らすだけで温暖化が防げるのか？・これまでCO2が原因としか考えていなかったが、水蒸気なども原因かもしれないと思うようになった。
- ・炭素、CO2には利権がからんでいるのではないのか？
- ・水蒸気が温暖化の原因としたら、なぜ水蒸気が増えたのかそこが知りたい。また、なぜ水蒸気を減らそうという運動が起こらないのか？・風力発電について廃棄する時の問題があるようだ。石炭がいいのではないのか？という気もする(笑)・以前、仕事関係で風力発電の話を出したことがあるが、当時は原子力一辺倒の時代で、風力発電の話は誰も聞こうとしなかった。等々、

様々なご意見をいただきました。時間の都合で、皆様のお話を十分伺えなかったことは残念でしたが、また機会があればと思います。

本日はたいへんありがとうございました。

※本稿の内容は都合により一部、略記している為ご不明点などございましたら下記までお知らせください。

k. ito. skyy. g@gmail.com 伊藤健一宛

◆◆◆ ニコニコハッピーBOX ◆◆◆

7, 8月：2,000円

計15,500円

登坂征一郎会員：6月末に脳梗塞で倒れ、ほぼ3年間リハビリ入院(仙台)している弟を見舞った。お蔭様で椅子ながら元気に、リハビリに努めていたので安堵した。
伊藤健一会員：猛暑、熱帯夜が続いていた先日のこと、寝室のエアコンが突然故障？全然冷えなくなり、いよいよ買い替えかと覚悟したが、奥さんがフィルターやエアコン内を念入りに掃除し、自分も少し手強い電源を抜き・差ししたら、元通り動くようになって助かりました。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

○第22回総会を無事終了し、新たな活動へと始動しました。○高村弘毅前会長がこの猛暑中ご出席され、米寿の誕生日祝いを言祝ぐことが出来ました。ますますご健勝でありますよう。○辻勝英会員の卓話では在職中専門分野以外にシックスシグマや、輸出管理など多様な分野で活躍されました。今後も広い見識で大いに活躍されることを願っております。○「地球温暖化」に関し、伊藤健一会員の卓話並びにフリートーカーの話題提供に真剣に取り組んだことに敬意を表します。今後の科学者の研究成果に注目したい。(広報委員 登坂征一郎記)